

ひとと空間を科学する

住居学科 1年生のみなさん、 おめでとうございます!

4月は桜舞うキャンパスに、希望に満ちた初々しい顔の新入生であふれ、一層華やかです。

2017年度は、居住環境デザイン専攻54名、建築デザイン専攻38名、計92名が住居学科に入学しました。

充実した大学生活となるよう、学科スタッフ一同願っております!



4/12 住居学科1年生向けガイダンスの様子

topic
1

2016年 11月20日

いわき市豊間地区 どんぐり交流会に 参加させていただきました

今年のどんぐり交流会では、午前中にどんぐり苗の植樹、復興商店会とマルシェの見学をし、昼食を頂きました。その後、パネルディスカッションがありお話を伺いました。植樹は 昨年の交流会で持ち帰ったどんぐりの種を一年間各自が育て、成長した苗を持ち寄り植えました。その中には日本女子大学の学生が育てた苗もあります。どんぐりの木が育つと共に、豊間と私たちを結ぶシンボルとしてもあり続けることを願っています。昼食は復興商店街の方々が用意してくださいました。各店の自慢の一品が持ち寄られ作ら

れました。お弁当は、私たちに復興への力強さを感じさせました。パネルディスカッションでは各団体の活動内容を伺いました。赤坂と尾山台団地の方々はこれまでも毎年交流会を行っていたそうです。皆様がいきいきと話している様子がとても印象的であり、愛着と誇りをもち楽しく活動している様子が感じられました。

多くの方々のお話からとても刺激を受ける会でした。これからも豊間と繋がりたいと思います。

report

住居学科3年 居住環境デザイン専攻 杉浦 美鈴
建築デザイン専攻 細川 みのり



植樹は豊間の海岸沿いで行いました。



パネルディスカッションでは豊間、赤坂、尾山台団地、船橋、生田緑地での活動内容が報告されました。



とよマルシェの様子



帰りに寄った阿弥陀堂の紅葉も素敵でした。

2016年 10月29・30日 村川家住宅公開イベントに 学生スタッフとして参加しました

毎年秋に東京都文化財ウィークが開催されます。そのうちのひとつである村川邸の公開イベントに今年もお手伝いをさせていただきました。

村川家住宅は、西洋史家の村川堅固氏により明治44年に建てられました。和風住宅の脇に独立した西洋館があります。2代目の堅太郎氏は山川出版社の世界史の教科書を執筆されました。今なお3代目により大切に継がれており、東京都文化財ウィークの時に一般の方に公開されています。

今年の公開イベントには、本学の学部2年生から修士2年生の有志がお手伝いとして集まりました。当日は、投扇興体験と建物の見学会が行われました。スタッフとして参加したことで空間や家の歴史について学ぶことができ、それらを学外の人に対して説明するという貴重な体験ができました。



村川邸の中庭 村川邸は日本女子大学から徒歩5分

地域の方々と交流させて頂き、目白台や雑司が谷のお話も伺うことができ、このまちの歴史にも触れることができました。来年度も公開イベントが開催されるかもしれません。大学近くの文化財に関わることでできる貴重な体験になります。興味がある方は来年度是非一緒に参加しませんか？伝統的な和風住宅での生活を感じることができます。

report

住居学科3年 建築デザイン専攻 末澤 瑠里子



投扇興体験と建物の見学会の様子

第9回 日本女子大学 家政学部賞



日本女子大学 家政学部では、私たちの生活をより合理的で豊かなものにするために、家庭生活や生活環境に関わる諸問題を自然科学的・人文科学的・社会的に探求し、人類の福祉に広く貢献する個人および団体の活動を奨励することを目的として、2008年に「日本女子大学家政学部賞」を創設し、受賞者を表彰しています。

今回は右記の個人・団体が受賞し、2016年10月27日に受賞記念講演会と授賞式が行われました。

第9回 受賞者

坂上和子氏

(認定特定非営利活動法人「病気の子ども支援ネット 遊びのボランティア」代表)
入院児のための遊びのボランティア25年間の活動に対して

特定非営利活動法人

豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

子ども食堂の設置・運営・普及に努めるなど、子どもの貧困に取り組む活動に対して

特定非営利活動法人

わこう子育てネットワーク

団体が先駆的に行った自主事業を制度化し公共的生活資源を創造してきた活動に対して